



就職活動コンシェルジュ会員から読み取る、
最近の学生の動向

2008年11月

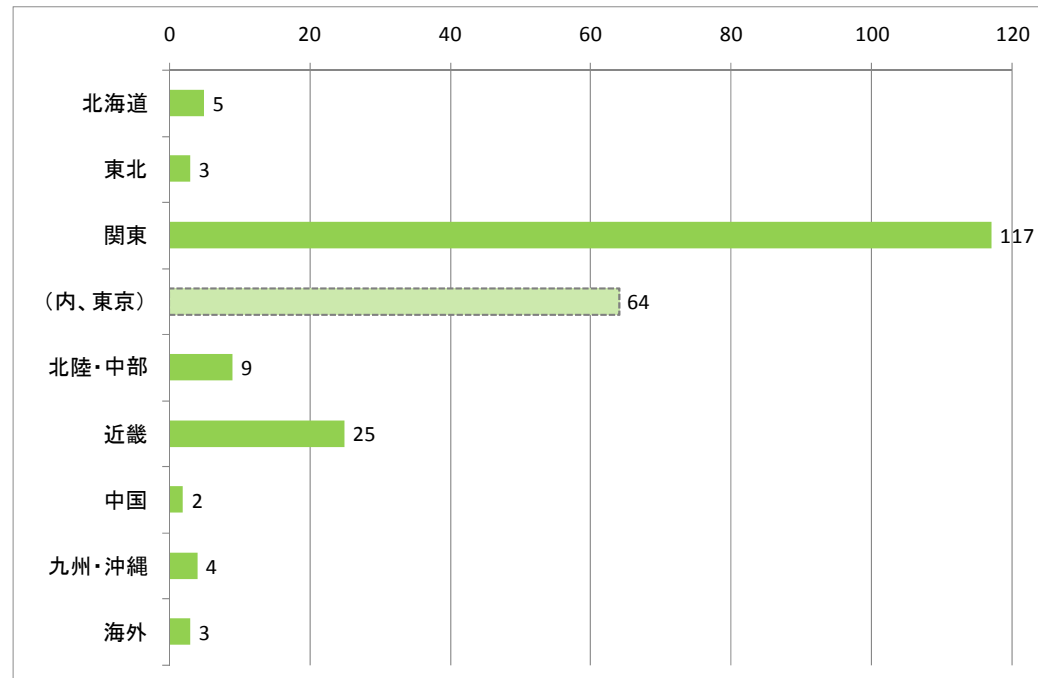
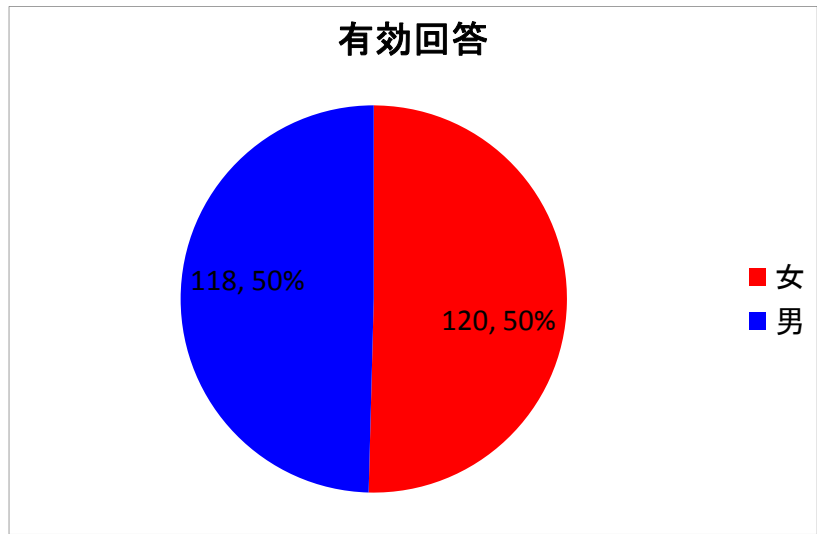
株式会社**gusiness** 就活コンシェルジュ事業部

登録情報の概要

アンケートは、就職活動コンシェルジュ(<http://shukatsuc.jp/>)のWebサイト上において、このサイトに会員登録をした人を対象にして、行われた。分析の対象となったデータは、2008年9月24日～10月28日の約1ヵ月間において回収されたデータである(ただし、不備がみられるデータは除外している)。

有効回答数は、全部で238名分であり、女性120名、男性118名と、男女の比率はほぼ50%ずつとなっている。

有効回答の中で、居住地域について回答をしている169名分についての地域分布をみると、圧倒的に関東からの回答が多くなっており、特に東京だけで関東全体の半数を超える64名もの回答が得られていることが分かる。(居住地域は必須項目ではないため、69名分の回答が未回答となっている)

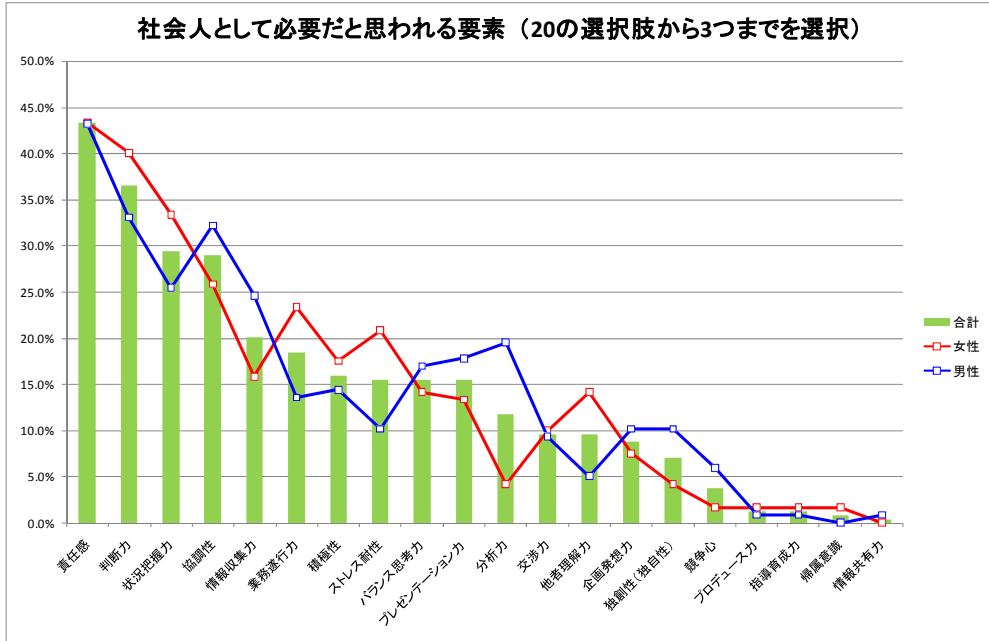


学生が考える「社会人として必要だと思われる要素」

20個の選択肢から3つまで選択できるようにして得られた回答で、上位の項目は「責任感(43.3%)」「判断力(36.6%)」「状況把握力(29.4%)」「協調性(29.0%)」となった。特に「責任感」については、男女ともにほぼ同スコアでのトップ項目であり、学生と社会人の一番の違いとして感じているようだ。

男女別では、「状況把握力」については男性よりも女性の方が高く必要と感じている。一方、「協調性」においては女性よりも男性の方が高く必要と感じている。

逆に下位の項目をみると、「プロデュース力」「指導育成力」「帰属意識」「情報共有力」が3名以下の回答しか得られておらず、社会人としてほとんど必要ではない要素を考えられていることが分かる。「協調性」がトップグループの項目になっているのに対し、「情報共有力」が下位となっているのは、協調して仕事をしていく中に情報共有の重要性が含まれていることを社会人未経験のために理解できていないと思われる。

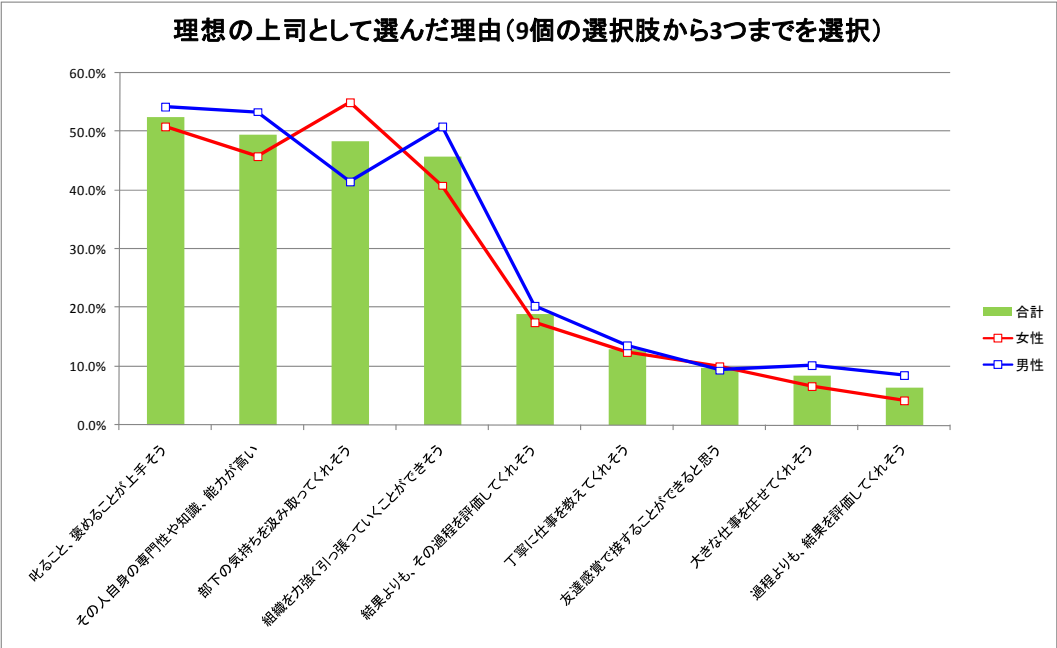


理想の上司に期待すること

9個の選択肢から3つまで選択できるようにして得られた回答で、上位の項目は「叱ること、褒めることが上手そう(52.5%)」「その人自身の専門性や知識、能力が高い(49.6%)」「部下の気持ちを汲み取ってくれそう(48.3%)」「組織を力強く引っ張っていくことができそう(45.8%)」となった。

逆に下位の項目をみると、「友達感覚で接することができると思う」「大きな仕事を任せってくれそう」「過程よりも、結果を評価してくれそう」といった項目が並んだ。

男女別では、女性においては「部下の気持ちを汲み取ってくれそう」がトップの項目であり、新入社員側から上司に対して自分の考えや気持ちを伝えるのではなく、それを汲み取ってもらうことを望んでいる姿勢がうかがえる。



理想の上司像

理想の上司像としてあげられた有名人のトップは、イチロー(プロ野球選手)であり、男女の両方からの支持を受けている。

その次は王貞治(前ソフトバンクホークス監督)で、こちらは圧倒的に男性の支持が強い。以下、小泉純一郎(元総理大臣)、所ジョージ(タレント)、北野武(映画監督、タレント)の名前が並ぶ。

また8位にランク入りした篠原涼子(女優)は、女性からのみの支持といった特徴がみられる。

上位10位以内の有名人の内訳としては、芸能界から「所ジョージ」「北野武」「島田紳助」「タモリ」「篠原涼子」の6名でトップ。その次は野球界で「イチロー」「王貞治」「古田敦也」「星野仙一」の4名。政界からのランク入りは「小泉純一郎」の1名のみとなった。財界からは10位以内には入らなかったが、「本田宗一郎」が11位となっていた。

	合計	女	男
1 イチロー	25	13	12
2 王貞治	10	2	8
3 小泉純一郎	9	4	5
4 所ジョージ	8	4	4
4 北野武	8	3	5
6 島田紳助	7	4	3
7 タモリ	6	5	1
8 古田敦也	5	4	1
8 篠原涼子	5	5	0
8 星野仙一	5	3	2